

\*\*2023年 1月改訂 (第4版)  
\*2007年 9月改訂 (第3版)

貯法：遮光・気密容器  
薬効分類名：外皮用殺菌消毒剤  
販売名：無水エタノール「イマヅ」

日本標準商品分類番号	
872615	
承認番号	16000AMZ03820000
薬価収載	1985年 8月
販売開始	1956年 9月
再評価結果	1982年 8月

## 日本薬局方 無水エタノール ANHYDROUS ETHANOL

### 【禁忌】

(次の部位には使用しないこと)  
損傷皮膚及び粘膜 (刺激性を有するので)

### \*【組成・性状】

本品は15℃でエタノール (C<sub>2</sub>H<sub>6</sub>O) 99.5vol%以上を含む (比重による)。

本品は無色澄明の液で水と混和する。

本品は燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげて燃え、かつ揮発性である。

### \*\*【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位 (手術野) の皮膚の消毒、医療機器の消毒

### 【用法・用量】

本品を精製水で薄めて、エタノールとして76.9~81.4vol%とし、これを消毒部位に塗布する。

### 【使用上の注意】

#### (1) 副作用 (頻度不明)

過敏症 (発疹等)、皮膚の刺激症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

#### (2) 適用上の注意

人体

ア. 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。

イ. 眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。

ウ. 広範囲又は長時間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。

エ. 同一部位に反復使用した場合には、脱脂などによる皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

### その他

本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

#### (3) その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法 (PEIT) 使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

### 【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において栄養型細菌 (グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルスなどには有効であるが、芽胞 (炭疽菌、破傷風菌など) 及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

### 【取扱上の注意】

(1) 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

(2) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

### 【包装単位】

500mL、16L

### 【製造販売元】

東京都千代田区神田須田町2丁目19番地  
今津薬品工業株式会社